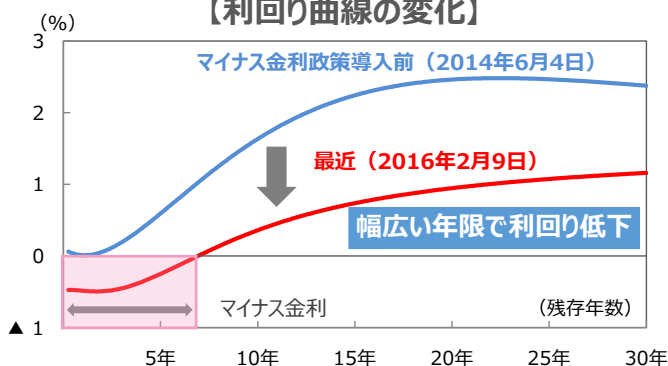


Q ECBのマイナス金利政策、市場への影響は？

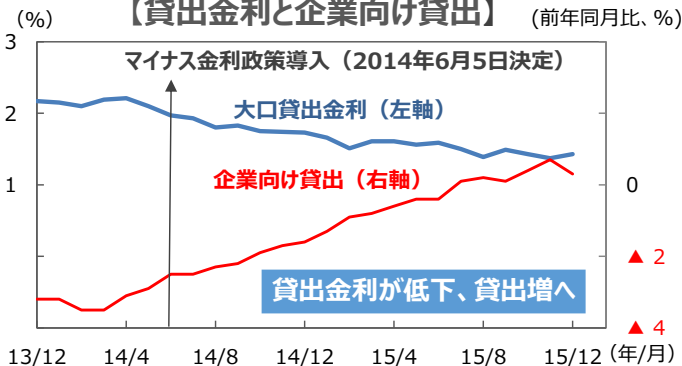
A 金利の低下を通じて企業向け貸出が持ち直し、景気とインフレ率は緩やかに上昇しました。また、ユーロ安が進行し企業業績が改善、景気回復を後押しし、株価は堅調に推移しました。

【利回り曲線の変化】



(注) 利回り曲線は各年限を残存年数とするAAA格の国債の利回りをつないだもの。
(出所) 欧州中央銀行 (ECB) のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

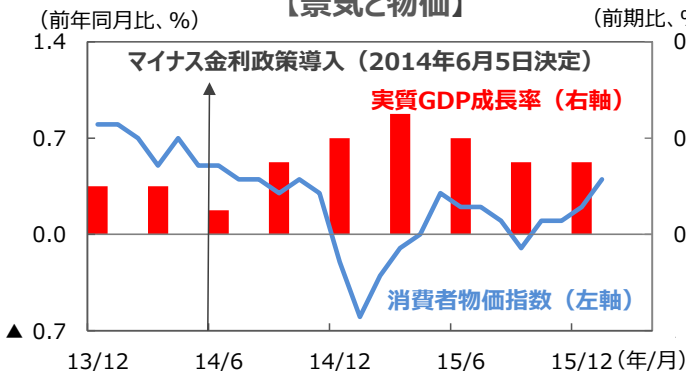
【貸出金利と企業向け貸出】 (前年同月比、%)



(注) データは2013年12月～2015年12月 (月次)。
(出所) ECBのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

景気と物価上昇率は緩やかな回復傾向を示す

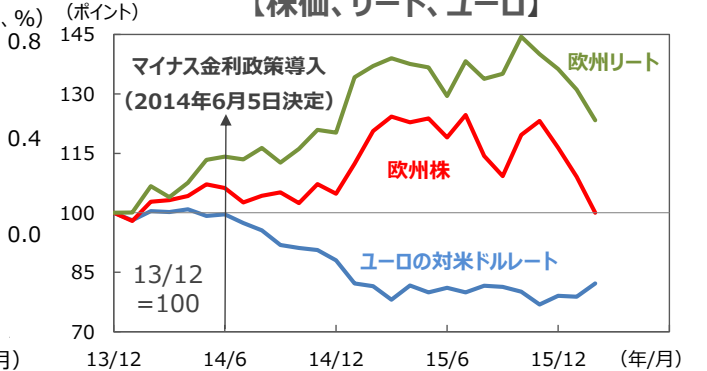
【景気と物価】



(注) 消費者物価指数は2013年12月～2016年1月 (月次)。実質GDP成長率は2013年10-12月期～2015年10-12月期 (最終期はBloomberg L.P.の予想)。
(出所) 欧州統計局のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

金利低下、ユーロ安を株価とリートは好感

【株価、リート、ユーロ】



(注) データは2013年12月～2016年2月の月末値 (直近は2月10日)。株式はユーロ・ストックス指数、リートはS&P欧州REIT指数。いずれもトータルリターンベース。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。